

道南

姉兄3人地元に残り 親孝行します

知内町 小原 一真

僕の家族は母と姉と兄の四人家族です。

僕が六才の時から母は一人で僕たち兄弟を育ててくれました。

母は今知内町の給食センターで働いていますが、僕たちが学校に行っている時は二つの仕事をし



高校時代ショート2番でレギュラーとして活躍

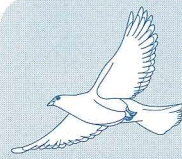


郵便局員として日々奮闘

いました。それは僕も兄も中学の時から野球部に入り野球をやっていたからです。知内町は野球が盛んで中学でも高校でも休みもなく練習していましたので、スパイクやソックス、アンダーシャツなど、いたみはげしく毎年のように買い替えなければならぬ、その都度、母は応援に来てくれました。兄も僕も高校の時奨学金を給付してもらい、野球の道具などを買わせてもらいました。

兄はピッチャーとして活躍し、高校卒業後、知内町のJAに就職しました。僕はショートで二番、二年生の秋からレギュラーとして試合に出ています。

今年の春、高校を卒業し、知内町の郵便局に就職し、毎日、仕事に頑張っています。今も四大家族一緒に暮らしています。これからは母に親孝行したいと思っています。



夢と希望に 奨学金を生

道東

学び続ける 保育士目指して

広尾町 坂本 彩稲
(札幌在住)



短大入学式に友人と(右側)

私は、小さい頃から保育士になるのが夢でした。ですが、高校を卒業して保育を専門的に学ぶには学校に通うための学費が必要でした。母の収入では足りないということも理解していたけれど夢を諦めることは出来ずとても母を悩ませました。

その頃に母が母子会に入会させていただきました。そのご支援のおかげでオープンキャンパスに行くことができ、「この学校に行きたい。」と気持ちが高まりました。そこで、母の友人や高校



部活動よさこいの仲間と(右側)

の担任の先生や私が保育士を目指すきっかけくれた先生の母への声掛けで私は短期大学に入学することが出来ました。

大学生活は、部活動でよさこいに所属し、アルバイトをし、充実した毎日を過ごしています。

入会させていただいたことで経済的、精神的にも余裕が出来て、学校に通うことが出来ました。親子共にとても感謝しています。社会人になったら、今まで母が育ててくれたように母を支えていき、子どもたちの前に立つ先生として学んだことを活かして先生になってからも沢山のことを学びたいと思います。